## 循環型社会の実現に向けたメルカリの取り組み

~限りある資源が大切に使われ、誰もがもっと豊かに暮らせる循環型社会へ~



mercari

## スピーカー紹介





たものき ひろひさ

## 田面木 宏尚

株式会社メルカリ 上級執行役員メルカリジャパンCEO

早稲田大学を卒業後、GMOクラウド株式会社へ入社。CS業務、サーバーホスティング事業、および新規事業の立ち上げ等に従事。2010年にピクシブ株式会社へ入社し、取締役としてシステム開発、マーケティング、グロース等の事業統括に従事。

2016年1月より株式会社アニメイトラボ代表取締役社長CEOに就任し、小売領域におけるIT事業推進を実行。2017年2月に執行役員としてメルカリに参画。2018年10月執行役員メルカリジャパンCEO就任、2020年9月上級執行役員メルカリジャパンCEO就任。

## コーポレートミッション



# 新たな価値を生みだす 世界的なマーケットプレイスを創る

Create value in a global marketplace where anyone can buy & sell

「限りある資源を循環させ、より豊かな社会をつくりたい」

創業者である山田進太郎が世界一周の旅で抱いた、そんな問題意識によって生まれたのがフリマアプリ「メルカリ」です。テクノロジー の力によって、世界中の個人と個人をつなぎ、誰もが簡単にモノの売り買いを楽しめる。

それにより資源を循環させる豊かな社会、個人がやりたいことを実現できる社会をつくっていきたいと考えています。

## メルカリが創りたい社会



生まれた国や環境によって 豊かになりたくても豊かになれない人がいます。

逆に日本のような先進国では、 電気も水もあって、多くの人が豊かに暮らせていますよね。

このアンバランスを何とかしたいんです。でも資源は有限です。



今の先進国のような資源の使い方だと、世界中の人が豊かに暮らすことはできない。 もっと資源を節約して、みんなが少しづつがまんして暮らしていかないといけない。 それによって新興国の人たちの生活レベルがあがっていくような、そういう世界を創りたい。

日本で要らなくなったスマホとかクルマでも、新興国の人は使えるはず。買えるはず。そういう世界観でサービスを作っていきたいんです。

※ メルカンでの山田進太郎へのインタビュー記事(2019/11/5)より引用

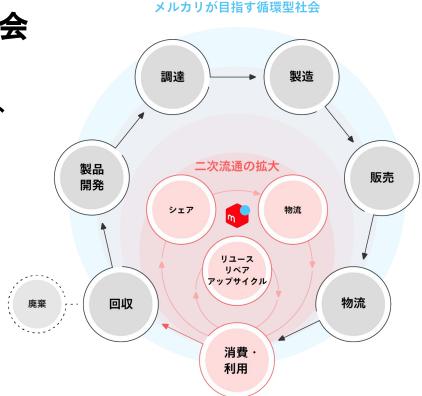
## メルカリが創りたい社会



限りある資源が大切に使われ、 誰もがもっと豊かに暮らせる循環型社会

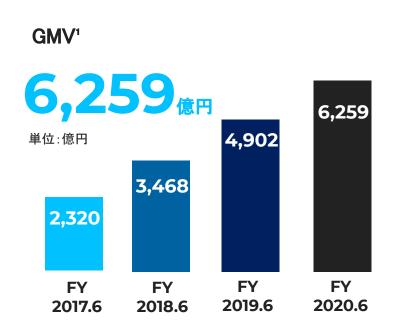
"最終的に捨てられることを前提とした生産・消費"から、

"循環することを前提とした生産・消費"へ



## 利用実績推移(JP/FY2020.6 通期)







出典:会社資料。JP版メルカリ事業の決算概況(FY2021.6 1Q)より。

<sup>1.</sup>キャンセル等を考慮後の取引高の合計

<sup>2.</sup> Monthly Active Userの略であり、1ヶ月に一度以上利用した登録ユーザーの数。四半期平均のMAU

## メルカリのサステナビリティへの取り組み



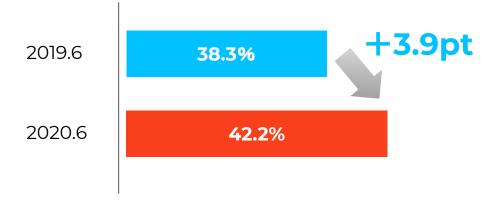
メルカリは、より豊かな社会を目指すため、「循環型社会の実現」 「循環型社会の実現に向けた文化醸成・教育」「地域活性化」「安心・安全・公正な取引環境の整備」 「コンプライアンス・リスクマネジメントの強化」の 5つのテーマに取り組みます。



### 1. 循環型社会の実現



まだ使えるが不要になったもののについて、 「フリマアプリ等を通じてリュースする」人の割合 \*1



#### メルカリエコパックによる梱包材の無駄の削減

約7割のお客さまが、受け取ったメルカリエコパックを再度発送に使用したと回答
○配布数から推定して約10,980個分の梱包材の削減に相当\*2



- \*1:2020年6月に一般生活者に対して調査会社を通じて行ったアンケート調査より(回答数: 2,400人)
- \*2:2020年3月にメルカリを利用していただいているお客さま 496万人を対象に実施したアンケート調査より(回答数: 238,000人)

## 2. 循環型社会の実現に向けた文化醸成・教育



#### レベル1

ものやお金の大切さに気づく



#### ○小学生向け

「価値交換体験プログラム(メルカリ先生からの挑戦状クイズ版/カードゲーム版)」 開発・実施



日常生活の中でメルカリを リユース等の手段として活用するように なる



#### ○小学生向け

「メルカリ体験教育~ものとお金の価値を学ぶ~かんさつ帳」開発

#### ○中高生

「スマホの安心・安全な使い方講座」

#### レベル3

環境・社会課題に関心を持ち、自ら 解決に向けて行動するようになる



#### ○高校生向け

ー「PBL型:20年後の価値交換を支えるサービスを考えるプロジェクト」

一「PBLを通じたメルカリ教育」



⇔全5校のアフタースクールでトライアル授業を実施

□参加者117名のうち81.2%が

「社会・環境課題解決のために、自身で何かに取り組んでみたい」と回答



## 2. 循環型社会の実現に向けた文化醸成・教育







## その他の取り組み



#### 地域活性化

- 地方自治体との包括協定の締結及び本協定を通じた自治体への支援
  - 岐阜市、千葉市、神戸市、神奈川県
- 地域の商店街におけるキャッシュレス化の取り組み
  - 高円寺商店街、巣鴨地蔵通り商店街、岡町桜塚商店街(大阪)、心斎橋(大阪) など

#### 安心・安全・公正な取引環境の実現

- 既存の不正検知システムの継続的改善
- テクノロジーを活用した違反商品・違反アカウントに対する正確な対応
- 禁止出品物·禁止行為基準策定委員会の運用
- ◆ 外部団体(国内外)とのネットワークを通じた情報の収集とそれに伴うサービス改善など

#### コンプライアンス・リスクマネジメントの強化

- コンプライアンス研修
- 定期的なコンプライアンス研修(年23回実施)
- 法令等遵守状況のモニタリング
- 新商品、新サービスのリリース時のコンプラチェック・リスク評価など





# この他の施策



# GREEN FRIDAY

メルカリ グリーンフライデー プロジェクト



## 「購入しても活用していないモノ」調査



- 約5割が、「購入後、ほとんど使わなくなったモノ」を保有
- ほとんど使わなくなったモノの約6割は洋服
- ほとんど使わなくなったモノの購入、約5割は「衝動買い」に起因
- 約4割が再利用の意向

#### <調査概要>

調査時期:2020年10月23日(金)~25日(日)

調査方法:インターネット調査

調査対象:20代~60代の男女10,000人ならびに

「購入したものの、その後ほとんど使わなくなったモノ」を保有していると

回答した20代~60代の男女1,000人



# 新作ゼロのサステナブルファッションショー







## 「捨てない大掃除プラン」の流れ









# ご清聴ありがとうございました